

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

|      |   |        |               |
|------|---|--------|---------------|
| 施設名称 | 中原区第4グループ(新城・大戸・宮内)   | 評価対象年度 | 平成29年度        |
| 事業者名 | ・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター<br>・代表者名 理事長 小倉 敬子<br>・住所 川崎市中区新丸子東3丁目1100番地12 | 評価者    | 青少年支援室長       |
| 指定期間 | 平成28年4月1日～平成31年3月31日  | 所管課    | こども未来局 青少年支援室 |

2. 事業実績

| 利用実績                       | H28  |         | H29        |            | H28     |       | H29 |      |
|----------------------------|--|---------|------------|------------|---------|-------|-----|------|
|                            | 1 新城こども文化センター<br>①年間延べ利用者数   | 32,904人 | 33,399人    | ②年間延べ利用団体数 | 182団体   | 162団体 |     |      |
| 2 新城小学校わくわくプラザ<br>①登録者数    | 412人   | 386人    | ②年間延べ利用者数  | 28,038人    | 29,043人 |       |     |      |
| 1 大戸こども文化センター<br>①年間延べ利用者数 | 41,813人  | 40,178人 | ②年間延べ利用団体数 | 352団体      | 354団体   |       |     |      |
| 2 大戸小学校わくわくプラザ<br>①登録者数    | 435人   | 446人    | ②年間延べ利用者数  | 21,980人    | 26,958人 |       |     |      |
| 3 大谷戸小学校わくわくプラザ<br>①登録者数   | 521人   | 517人    | ②年間延べ利用者数  | 33,127人    | 34,952人 |       |     |      |
| 1 宮内こども文化センター<br>①年間延べ利用者数 | 33,246人  | 32,661人 | ②年間延べ利用団体数 | 401団体      | 404団体   |       |     |      |
| 2 宮内小学校わくわくプラザ<br>①登録者数    | 368人   | 408人    | ②年間延べ利用者数  | 20,014人    | 20,208人 |       |     |      |
| 3 中原小学校わくわくプラザ<br>①登録者数    | 371人   | 397人    | ②年間延べ利用者数  | 23,715人    | 29,475人 |       |     |      |
| 収支実績                       | 1 収入<br>指定管理料 156,132,964<br>2 支出<br>人件費 125,452,114<br>管理費 9,629,329<br>事務経費 7,467,884<br>その他経費 8,045,256<br>合計 150,594,583<br>3 差引 5,538,381 |         |            |            |         |       |     | 単位:円 |
| サービス向上の取組                  | 運営協議会、保護者懇談会、子ども運営会議、日常的な利用者とのコミュニケーション等により、利用者ニーズを把握し、館の活動や運営に反映した。また、事業者のスケールメリットを活かした全館行事、区行事やグループ行事など、地域を越えた児童の健全育成、交流の場づくりを実施した。          |         |            |            |         |       |     |      |

3. 評価

| 分類  | 項目                              | 着眼点                                       | 配点 | 評価段階 | 評価点 |
|---|---------------------------------|---|----|------|-----|
| 事業の推進   | 事業推進<br>及び<br>事業成果              | 「仕様書」を遵守して適切な事業の実施がなされているか。               | 10 | 4    | 8   |
|   |                                 | 「事業計画」に基づき、着実な事業の推進がなされているか。              |    |      |     |
|   |                                 | 「こども文化センター」の運営をすることにより、児童の健全な育成が図られているか。  |    |      |     |
|   |                                 | 「わくわくプラザ事業」を実施することにより、放課後児童の健全育成が図られているか。 |    |      |     |
| (評価の理由)<br>・仕様書・事業計画に基づき、こども文化センター及びわくわくプラザ事業を適正に実施した。<br>・グループ合同事業として、今年度は、野外活動「カラー大作戦」の開催場所を都立林試の森公園に変更し、「デイキャンプ」として実施することで、飯ごう炊飯や集団遊び、アスレチック遊び等を通して、異年齢交流が図られた。<br>・大戸こども文化センターでは、運営協議会共催事業として運営協議会を中心に利用団体や小学校PTA等、地域と協力しながら、様々な事業を実施するとともに、新たな取組として、中学生・高校生対象事業として、「ふれあいナイト公演」を実施し、PTA会長による「マクベス」を上演する等、地域交流が図られた。<br>・宮内小学校わくわくプラザでは、地域ボランティアの協力を得て、季節感を取り入れた行事を積極的に実施した。<br>・こうした取組の結果、成人の利用者数が、昨年度と比較し、約1200人増加したほか、中学生の利用者数が、昨年度と比較し、約500人増加した。  |                                 |   |    |      |     |
| サービス向上及び業務改善  | 利用者ニーズ                          | サービス向上のために、利用者等の意見を適切に把握しているか。            | 10 | 4    | 8   |
|   |                                 | 利用者ニーズを把握し、事業実施に適切に反映しているか。               |    |      |     |
|   |                                 | 苦情対応など、利用者への適切な対応が図られているか。                |    |      |     |
|   | 特別な配慮を要する利用者への対応                | 特別な配慮を要する利用者への対応が適切になされているか。              | 5  | 3    | 3   |
|   | 学校及び行政機関との連携                    | 事業の実施にあたり、学校及び行政機関、地域の団体等との連携がなされているか。    | 10 | 4    | 8   |
|   | 施設・事業の広報                        | 施設を知ってもらい、事業の充実を図るための周知の活動等に取り組んでいるか。     | 5  | 4    | 4   |
|   | 運営協議会の実施                        | 「こども文化センター運営協議会」が適切に運営・開催されているか。          | 5  | 3    | 3   |
| 保護者懇談会の実施   | 「わくわくプラザ保護者懇談会」が適切に運営・開催されているか。 | 5   | 3  | 3    |     |
| (評価の理由)<br>・利用者ニーズについて、意見箱の活用や利用者アンケート、子ども運営会議等を通じて、利用者ニーズ把握に努め、購入図書や行事に反映している。特に宮内こども文化センターでは、子ども運営会議での要望を受け、フェイスペイントや仮装をして地域を歩き、近隣の高齢者施設やどろきアリーナ等を訪問する「ハッピーハロウィン」を開催した。<br>・特別な配慮を要する利用者への対応について、学校や保護者等と情報共有を行うとともに、事例検討研修を実施するなど、職員資質向上に努めている。特に、宮内こども文化センター及び大戸こども文化センターでは、電動車いすを使用している保護者の施設利用について、保健所職員、利用者等と話し合い、サポート出来るよう体制を整えた。<br>・地域等との連携について、新城こども文化センター及び新城小学校わくわくプラザでは、新たにNPO法人東京太極拳協会と連携し「太極拳をやってみよう」を実施した。様々な学年の子どもたちが楽しめるスポーツ教室の実施を目的として行われ、1年生から6年生までの異なる学年の子どもたちが教え合う等一緒に活動し、交流を深めた。<br>・施設・事業の広報については、ホームページやおたより等多様な媒体を用いて積極的な広報を行っている。また、「中学生・高校生たより」や「幼児たより」を発行するなど、対象年齢を捉えた広報を行った。<br>・運営協議会及び保護者懇談会の実施については、事業計画通り、実施されていた。 |                                 |   |    |      |     |

|   |   |   |    |   |   |
|---|---|---|----|---|---|
| 組織管理体制制   | 適正な人員配置                                   | 「児童福祉施設の設置及び運営の基準に関する条例」第54条に基づく職員配置がなされているか。 | 10 | 3 | 6 |
|   |   | 「仕様書」において定める職員配置の最低基準が順守されているか。               |    |   |   |
|   |   | 「川崎市公契約条例」が遵守されているか。                          |    |   |   |
|   | 職員の研修体制                                   | 職員の資質向上のために必要な研修が実施されているか。                    | 10 | 4 | 8 |
| 職員が研修に参加しやすい仕組みづくりがなされているか。   |   |   |    |   |   |
| 個人情報等の取扱  | 法人として、個人情報保護に関する規定や体制を整備しており、適正に取り組んでいるか。 | 5   | 3  | 3 |   |
| <p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>適正な人員配置については、こども文化センター及びわくわくプラザにおいて、仕様書・事業計画に基づき、適正な配置がされている。特別な配慮を要する利用者についても、状況に応じた人員配置ができています。</li> <li>職員の研修体制については、運営法人の10年以上にわたる青少年分野における人材育成のノウハウを活かし、全市・グループ・館ごと、または、職位ごと、分野ごとの研修が行われていた。また、館内会議やスタッフ会議等において、研修を受講した職員がその知識を共有しており、研修資料やレポートをファイル等に一元化し、職員が閲覧出来る等、共有化の仕組み作りが出来ている。また、グループ研修として「野外研修」を実施し、火おこしや集団遊び等を学び、野外活動「カレー大作戦」の実施に活かされた。</li> <li>個人情報の取扱については、法人において定めている、個人情報保護方針及び取扱規定に基づいて、個人情報等は鍵のかかる保管庫に保管されている。また個人情報の漏洩の事実はなかった。</li> </ul>  |   |   |    |   |   |
| 適正な業務実施   | 施設・設備の保守管理                                | 安全な施設利用のため、施設や設備の保守・点検を適切に行っているか。             | 5  | 3 | 3 |
|   |   | 必要に応じて適切な維持・補修がなされているか。                       |    |   |   |
|   |   | 備品等の管理が適切になされているか。                            |    |   |   |
|   | 利用者の安全確保                                  | 利用者の安全を確保するための体制が整っているか。                      | 5  | 4 | 4 |
|   |   | 事故等が発生した場合に迅速かつ適切な対応が図られているか。                 |    |   |   |
|   |   | 事故防止や感染症予防対策等が事前に図られているか。                     |    |   |   |
| 防犯対策及び災害時の対応  | 施設の防犯対策に工夫がなされているか。                       | 5   | 3  | 3 |   |
|   | 災害発生時に備えた対応が図られているか。                      |   |    |   |   |
|   | 災害発生時に適切な対応・行動ができる取組がなされているか。             |   |    |   |   |
| <p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設・設備の保守管理については、こども文化センター・わくわくプラザ共に、施設・設備の保守点検を日常的に行い、補修が必要な場合は適宜、工事等実施している。</li> <li>利用者の安全確保については、財団作成の各種マニュアルに沿って、事故対応や衛生管理等を適切に行うとともに、実際の事故やヒヤリハット事例をもとに法人本部で「事例検討シート」を年2回作成し、館長会議、各館での職員会議、スタッフ会議と三階層において議論を重ね、そこで得られた対応策を集約して共有するなど、職員等の資質向上を図っている。また、宮内こども文化センター及び管轄わくわくプラザでは、食物アレルギー児童が増加しているため、エビイベントレーナーを用いた実習を行うとともに、他都市での事故事例の振り返りや自施設における対応について検討した。</li> <li>防犯対策及び災害時の対応として、法人作成の「不審者対応マニュアル」や、館ごとに作成している「災害時対応マニュアル」に基づき、災害備蓄品の常備や消防訓練、避難訓練の実施等、防災体制の強化に取り組んでいる。また、老人いこいの家や地域子育て支援センターと合同の避難訓練なども実施している。</li> </ul> |   |   |    |   |   |
| 収支計画・実績   | 適切な金銭管理・会計手続                              | 法人の規定等に沿った適切な会計処理と金銭管理がなされているか。               | 5  | 3 | 3 |
|   | 効率的・効果的な支出                                | 「事業計画」に沿った適切な支出がなされているか。                      | 5  | 3 | 3 |
|   |   | 効率的な執行に努め、経費削減に具体的に取り組んでいるか。                  |    |   |   |
|   |   | 支出に見合う効果が効果が得られており、サービス水準も確保されているか。           |    |   |   |
| <p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>金銭管理・会計手続については、適正に行われている。</li> <li>受託20グループ52施設を管理している運営法人のスケールメリットを活かし、一元的な臨時職員の雇用・管理、警備等業務委託の一括契約、消耗品や備品の一括購入等の取組により、効率的・効果的な経費の支出がなされている。</li> </ul>   |   |   |    |   |   |

#### 4. 総合評価

|       |    |       |   |
|-------|----|-------|---|
| 評価点合計 | 70 | 評価ランク | B |
|-------|----|-------|---|

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

こども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に長年に渡り携わってきた経験を活かし、安定した施設運営を実施している、市内20グループの指定管理を行うスケールメリットを活かし、全グループ合同行事、区合同行事等に加え、各館独自の事業も行い、豊富な行事を行った。「カレー大作戦」、「ふれあいナイト公演」、「ハッピーハロウィン」など、地域との連携による行事や利用者のニーズに即した行事を実施している。食物アレルギーエビイベント研修、気になる子の対応研修、事例検討研修など、職員の能力向上や意識付けに取り組み、事業運営に反映している。

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

今後も、地域社会全体で子どもを見守り育てる、安全・安心な居場所となるよう、環境整備や職員のスキル向上に努め、学校、行政、地域の各団体が共に連携しながら地域づくりを進めることで、職員と子どもも顔の見える関係を築き、小中高生から高齢者まで、多世代にとって、居心地のよい場となるよう努めること。